

訓子府町開町100周年・町制施行70周年

記念式典を挙行



訓子府町開町100周年・町制施行70周年記念式典を、11月1日に町公民館で挙行了しました。
 新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら実施し、町内外から約110名の方が出席。訓子府町の記念すべき日を祝いました。

11月1日10時に始まった記念式典は、開拓先人の霊に黙とう、町民憲章朗唱の後、記念歌としてつくられた「訓子府よ永久に」が披露されました。記念歌は、訓子府町出身で北見市在住の松岡義和さんが作詞、訓子府中学校前校長の小野朋之さんが作曲しました。当日は、伴奏を小野さん、北見市在住の声楽家北畑恵さんが歌い上げました。

続いて菊池町長が「先人は、困難なときにも現実から目を背けず立ち向かい、今の訓子府を築きました。全国民の生活を一変させたコロナ禍が本町にも襲いかかっていますが、この困難に立ち向かう勇氣、緑豊かな大地と先人から贈られた貴重な財産を力として、全町民を挙げて希望ある未来に向けて、発展させていくことを誓いました。

式辞を述べました。
 顕彰では、特別功労表彰5名、功労表彰4名、善行表彰3名、大正元年から昭和5年生まれの方で町内に70年以上住み続けられた永年在住者68名、100歳を超えている長寿の方10名、町勢の発展に功績のある方11名と4団体の合わせて、101名と4団体のうち、当日出席の31名と4団体に菊池町長から表彰状や感謝状が手渡されました。その後、受賞者代表として、特別功労表彰を受けた上原豊茂さんから「このような榮譽ある表彰をしていただいたことは、町民の皆さんや関わっていただいた方々の多年にわたるご支援のおかげです。受賞の重みを噛みしめながら今後とも微力を尽くしていきたいと思います」と謝辞が述べられました。



記念歌披露



式辞

困難にも立ち向かいさらなる飛躍を



特別功労表彰者・功労表彰者・善行表彰者

謝辞



感謝状贈呈



70年以上住み続けられた方・長寿の方



町勢の発展に功績のある方



感謝状贈呈

タイムカプセル開封式

平成8年の開基100周年記念事業の一環として、中央公園内に埋められたタイムカプセルを10月31日に開封しました。
 このタイムカプセルは、2020年10月31日に開封することとし、平成8年に24年後のメッセージなどが収納されていました。
 書き初めや絵、手紙、教科書、焼酎、ワインなど約300点が収納されており、当日参加した約50人の町民の方は当時を思い出し、懐かしんでいる様子でした。



■収納物の受け取りを
 12月10日(木)まで町公民館に展示しています。収納物にお心当たりのある方は、ご覧いただき、お持ち帰りいただくようお願いいたします。